

## 院長 北出光輝業績【学会発表、シンポジウム、ポスターセッション等】

筆頭演者	発表	タイトル	共同演者	学会名	場所	回	年
北出光輝	発表	結核性腹腔リンパ節炎および脾癌リンパ節転移との鑑別が困難であった mantle cell lymphomaの1例	北出光輝、吉治仁志、米田諭、小島秀之、伯耆徳之、福井博、松本壮平、中島祥介、北出光輝、吉川佳嗣、大西衛、中聡夫、荘田容志、中谷吉宏、蓮池俊明、藤原正義、山本浩、牧野晋也	日本消化器病学会近畿支部例会	大阪	75	2001. 9. 8
北出光輝	発表	市販の胃腸薬服用にてミルク・アルカリ症候群を発症した一例	北出光輝、吉治仁志、米田諭、小島秀之、伯耆徳之、福井博、松本壮平、中島祥介、北出光輝、吉川佳嗣、大西衛、中聡夫、荘田容志、中谷吉宏、蓮池俊明、藤原正義、山本浩、牧野晋也	日本内科学会近畿地方会	大阪	165	2001. 9.22
北出光輝	発表	中心部石灰化およびAPシャントを伴った胆管細胞癌の1例	北出光輝	奈良県肝・胆・膵研究会	奈良	25	2003. 6.21
北出光輝	発表	食道静脈瘤硬化療法における偶発症予防のための手技と工夫	北出光輝	奈良県消化器内視鏡研究会	奈良	39	2003. 7. 5
北出光輝	ポスター	中心部石灰化およびAPシャントを伴い診断に苦慮した胆管細胞癌の1例	北出光輝、吉治仁志、山尾純一、藤本正男、小島秀之、美登路昭、築瀬公嗣、浪崎正、瓦谷英人、新樂史郎、森本朋子、下里寛子、福井博、内田秀樹、高濱峯、中島祥介	日本肝臓学会西部会	岡山	35	2003.11.28
北出光輝	発表	ACE阻害剤による血管新生因子VEGFの抑制と肝癌の chemoprevention の可能性	北出光輝、吉治仁志、吉井純一、池中康英、築瀬公嗣、野口隆一、浪崎正、山崎正晴、北出光輝、吉治仁志、栗山茂樹、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、辻之上裕久、福井博	日本肝臓学会総会	東京	40	2004. 6. 3
北出光輝	ポスター	肝癌発育における V E G F 各受容体のシグナル伝達経路の差違	北出光輝、吉治仁志、栗山茂樹、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、辻之上裕久、福井博	日本癌学会学術総会	福岡	63	2004. 9.30
北出光輝	ポスター	ラット Non-alcoholic fatty liver disease(NAFLD)モデルの線維化進展におけるインスリン抵抗性、酸化ストレス、レプチンの役割；ZuckerラットにラットNAFLDモデルの肝発癌過程における酸化ストレスの役割；Zuckerラットを用いた検討	北出光輝、吉治仁志、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、福井博	日本肝臓学会大会	福岡	8	2004.10.22
北出光輝	発表	ラットNon-alcoholic fatty liver disease(NAFLD)モデルの肝発癌過程における酸化ストレスの役割；Zuckerラットを用いた検討	北出光輝、吉治仁志、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、福井博	日本消化器病学会総会	東京	91	2005. 4.15
北出光輝	ワークショップ	ラットNon-alcoholic fatty liver disease(NAFLD)モデルの肝線維化進展における血管新生の関与	北出光輝、吉治仁志、吉井純一、池中康英、野口隆一、浪崎正、築瀬公嗣、山崎正晴、北出光輝、吉治仁志、栗山茂樹、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、福井博	日本肝臓学会総会	大阪	41	2005. 6.16
北出光輝	ワークショップ	非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)実験モデルの肝発癌過程における酸化ストレスおよび血管新生の役割	北出光輝、吉治仁志、栗山茂樹、吉井純一、池中康英、野口隆一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、福井博	日本癌学会学術総会	札幌	64	2005. 9.14
北出光輝	ワークショップ	NASHモデルの肝発癌過程における酸化ストレスおよび血管新生の役割；Zucker ラットを用いた検討	北出光輝、吉治仁志、福井博	消化器・肝臓学会合同	神戸	9	2005.10. 7
北出光輝	ポスター	急速な転帰を辿った急性巨細胞性肝炎の一例	美登路昭、藤本正男、小島秀之、吉治仁志、吉田太之、浪崎正、北出光輝、福井博	日本消化器病学会総会	福岡	92	2006. 4.20
北出光輝	発表	IFNによるSVR確認後14年目に発症したC型慢性肝炎の1例	北出光輝、山尾純一、植村正人、小島秀之、藤本正男、吉治仁志、山崎正晴、豊原真久、美登路昭、池中康英、福井博	奈良肝臓ミーティング	奈良	1	2006. 7.14
北出光輝	発表	非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH)肝発癌におけるLeptinおよびVEGFを介する血管新生の役割	北出光輝、吉治仁志、栗山茂樹、池中康英、野口隆一、鍛冶孝祐、吉井純一、築瀬公嗣、浅田潔、山崎正晴、福井博	日本癌学会学術総会	横浜	65	2006. 9.28
北出光輝	ポスター	NASHの肝発癌過程における血管新生因子VEGFの役割；Zuckerラットを用いた検討	北出光輝、吉治仁志、栗山茂樹、池中康英、野口隆一、吉井純一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、浅田潔、福井博	日本肝臓学会大会	札幌	10	2006.10.12

北出光輝	シンポ	NASHの肝線維化進展における酸化ストレスと血管新生の役割	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本消化器病学会近畿支部例会	京都	86	2007.2.17
北出光輝	発表	NAFLD患者における血管新生と参加ストレス	北出光輝、吉治仁志、池中康英、鍛治孝祐、浅田潔、山崎正晴、吉井純一、築瀬公嗣、浪崎正、福井博	日本消化器病学会総会	青森	93	2007.4.19
北出光輝	発表	NASHの肝線維化進展における酸化ストレスと血管新生の役割	北出光輝、吉治仁志、池中康英、野口隆一、鍛治孝祐、浅田潔、山崎正晴、吉井純一、築瀬公嗣、浪崎正、福井博	肝病態生理研究会	東京	15	2007.5.30
北出光輝	ホスター	MASH患者の肝線維化進展における酸化ストレスと血管新生の役割	北出光輝、吉治仁志、池中康英、野口隆一、鍛治孝祐、浅田潔、山崎正晴、吉井純一、築瀬公嗣、浪崎正、福井博	日本肝臓学会総会	東京	43	2007.6.1
北出光輝	ワークショップ	NASHの肝線維化と発癌における酸化ストレスと血管新生の役割	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本肝臓学会西部会	長崎	37	2007.12.7
北出光輝	シンポ	インスリン抵抗性条件下における肝線維化進展機序：血管新生の関与	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本肝臓学会大会	東京	12	2008.10.1
北出光輝	ワークショップ	NASH肝発癌過程における血管新生の役割：酸化ストレスとの比較	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本肝臓学会大会	東京	12	2008.10.1
北出光輝	ワークショップ	NASHの肝発癌における血管新生の役割：基礎および臨床的検討	北出光輝、吉治仁志、池中康英、野口隆一、鍛治孝祐、吉井純一、築瀬公嗣、浪崎正、山崎正晴、福井博	日本癌学会学術総会	名古屋	67	2008.10.29
北出光輝	講演	NASH進展過程におけるサイトケラチン18 (CK18)と血管新生の関連	北出光輝	OSAKA CITY LIVER CLUB	大阪		2009.1.31
北出光輝	発表	NASH進展過程におけるサイトケラチン18 (CK18)と血管新生の関連	北出光輝、吉治仁志、鍛治孝祐、池中康英、野口隆一、浪崎正、吉井純一、築瀬公嗣、	日本消化器病学会総会	北海道	95	2009.5.7
北出光輝	発表	METとEGFRは独自のシグナルで肝前駆細胞の分化方向を規定する	北出光輝、吉治仁志、福井博	浜名湖シンポジウム	浜松	20	2012.12.23
北出光輝	発表	METとEGFRはそれぞれ独自のシグナルで肝前駆細胞の分化運命を規定する	北出光輝、吉治仁志、福井博	Kansai Liver Club	大阪	13	2013.3.16
北出光輝	シンポ	肝前駆細胞分化におけるMETおよびEGFRの役割	北出光輝、Snorri Thorgeirsson、福井博	日本消化器病学会総会	鹿児島	99	2013.3.23
北出光輝	発表	肝前駆細胞の胆管上皮細胞への分化におけるEGF-EGFRシグナルの役割	北出光輝、Snorri S Thorgeirsson、福井博	日本肝臓学会総会	東京	49	2013.6.6
北出光輝	ホスター	非環式レチノイドとアンジオテンシン2受容体ブロッカー併用による肝発癌抑制作用	北出光輝、吉治仁志、相原洋祐、野口隆一、浪崎正、堂原彰敏、福井博	日本がん転移学会	長野	22	2013.7.11
北出光輝	シンポ	肝前駆細胞を用いた効率的な肝細胞、胆管上皮細胞分化誘導の可能性	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本肝臓学会大会	東京	17	2013.10.10
北出光輝	ワークショップ	アンジオテンシンII制御による肝線維化の抑制と肝再生の促進	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本肝臓学会総会	東京	50	2014.5.29
北出光輝	発表	Hepatic stellate cell 制御による肝線維化抑制によってHepatic progenitor cell 依存性肝再生が促進される	北出光輝、吉治仁志、西村典久、相原洋祐、野口隆一、守屋圭、浪崎正、堂原彰敏	肝細胞研究会	東京	21	2014.6.27
北出光輝	発表	Hepatic stellate cellはHepatic progenitor cell の分化運命を規定する	北出光輝、吉治仁志、西村典久、相原洋祐、野口隆一、浪崎正、守屋圭、堂原彰敏、福	肝類洞壁細胞研究会学術集会	岡山	28	2014.12.13
北出光輝	発表	障害肝におけるHepatic Stellate CellとHepatic Progenitor Cellのinteraction	北出光輝	Kansai Liver Club	大阪		2015.4.4
北出光輝	シンポ	活性化星細胞の抑制は Haptic Progenitor Cell 依存性の肝再生促進に	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本消化器病学会総会	仙台	101	2015.4.24
北出光輝	発表	肝星細胞は肝前駆細胞の分化運命を規定する	北出光輝、吉治仁志、西村典久、相原洋祐、野口隆一、守屋圭、浪崎正、堂原彰敏、福	肝病態生理研究会	熊本	23	2015.5.20
北出光輝	ワークショップ	肝硬変マウスモデルにおいて、肝線維化抑制によりHepatic Progenitor Cell 依存性肝再生が促進される	北出光輝、吉治仁志、福井博	日本肝臓学会総会	熊本	51	2015.5.22

北出光輝	座長		北出光輝	肝細胞研究会	鳥取	22	2015. 6. 4
北出光輝	発表	活性化肝星細胞から分泌される Jagged1が肝前駆細胞の分化運命を胆管上皮細胞に向ける	北出光輝、西村典久、関建一郎、相原洋祐、野口隆一、浪崎正、守屋圭、堂原彰敏、吉	肝細胞研究会	鳥取	22	2015. 6. 5
北出光輝	ワークショップ	肝線維化進展抑制により肝前駆細胞依存性肝再生が促進される	北出光輝、西村典久、吉治仁志	日本消化器病学会近畿支部例会	大阪	103	2015. 9.26
北出光輝	座長		北出光輝	日本消化器病学会近畿支部例会	大阪	103	2015. 9.26
北出光輝	ホスター	活性化肝星細胞はJagged1を介して肝前駆細胞の分化運命をparacrineに規定する	北出光輝、西村典久、関建一郎、相原洋祐、野口隆一、守屋圭、浪崎正、堂原彰敏、吉	日本肝臓学会大会	東京	19	2015.10. 9
北出光輝	コメンテーター		北出光輝	日本消化器病学会総会	東京	102	2016. 4.21
北出光輝	座長		北出光輝	奈良肝臓ミーティング	橿原	21	2016. 9.30
北出光輝	発表	新規NOTCH1選択的阻害剤を用いた肝再生治療の試み	北出光輝	Let's joint G+!	東京	2	2016.12. 17
北出光輝	講演	肝疾患における合併症としてかゆみを中心に	北出光輝	Hepatology Seminar in NARA	奈良		2017. 3. 2
北出光輝	座長		北出光輝	Kansai Liver Club 2017	大阪		2017. 4. 1
北出光輝	ワークショップ	肝線維化モデルにおける新規NOTCH1選択的阻害剤を用いた肝再生治療の試み	北出光輝、鍛治孝祐、吉治仁志	日本消化器病学会総会	東京	103	2017. 4.22
北出光輝	発表	慢性肝障害モデルにおける新規NOTCH1選択的阻害剤の治療効果の基礎的検討	北出光輝、鍛治孝祐、吉治仁志	日本肝臓学会総会	広島	53	2017. 6. 9
北出光輝	ワークショップ	糖尿病条件下における非環式レチノイドおよびアンギオテンシンⅡ受容体拮抗薬の肝発癌併用効果と機序の解析	北出光輝、西村典久、吉治仁志	日本肝臓学会総会	広島	53	2017. 6. 9
北出光輝	ハルビティイカッション	NOTCH1阻害剤による新規肝再生療法の試み	北出光輝、鍛治孝祐、吉治仁志	JDDW2017	福岡		2017.10. 13
北出光輝	ハルビティイカッション	NOTCH1阻害剤による新規抗線維化治療の基礎的検討	北出光輝、鍛治孝祐、吉治仁志	日本消化器病学会総会	東京	104	2018. 4.19
北出光輝	シンポ	NOTCH1を標的分子とした新規抗線維化・肝再生治療法の基礎的検討	北出光輝、鍛治孝祐、吉治仁志	日本肝臓学会総会	大阪	54	2018. 6.14
北出光輝	司会	1.肝臓	北出光輝	専門医セミナー	大阪	15	2018. 9.29
Kitade M	ホスター	The potent angiogenic factor, vascular endothelial growth factor, and receptor interaction plays a pivotal role in liver carcinogenesis	Kitade M, Yoshiji H, Kuriyama S, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Yanase K, Namisaki T, Fukui	国際消化器発癌会議	札幌	3	2004. 8.19
Kitade M	発表	The role of leptin and oxidative stress in hepatic fibrogenesis in the rat model of non-alcoholic fatty liver	Kitade M, Yoshiji H, Yoshii J, Ikenaka Y, Noguchi R, Namisaki T, Fukui H	Third JSH Single Topic Conference	高知	3	2004.10. 7
Kitade M	ホスター	The roles of interaction between leptin, oxidative stress, and angiogenesis in hepatic fibrogenesis in the rat model of non-alcoholic	Kitade M, Yoshiji H, Yoshii J, Ikenaka Y, Yanase K, Noguchi R, Namisaki T, Fukui H	AASLD	カンファレンス		2005.11. 14
Kitade M	ホスター	Leptin-mediated neovascularization, which coordinates with VEGF, plays a pivotal role in hepatocarcinogenesis in NASH rats.	Kitade M, Yoshiji H, Kuriyama S, Ikenaka Y, Noguchi R, Kaji K, Yoshii J, Yanase K, Asada K, Kitade M, Yoshiji H,	Metastasis Research Society	徳島	11	2006. 9. 5
Kitade M	発表	Leptin-mediated neovascularization plays a pivotal role in hepatocarcinogenesis in NASH	Kuriyama S, Ikenaka Y, Noguchi R, Kaji K, Yoshii J, Yanase K, Asada K, Namisaki T, Yamazaki M,	APASL	京都	17	2007. 3.30

Kitade M	ホ°スタ-	Coordination of leptin and VEGF-mediated neovascularization plays a pivotal role in hepatocarcinogenesis of NASH	Kitade M, Yoshiji H, Kuriyama S, Ikenaka Y, Noguchi R, Kaji K, Yoshii J, Yanase K, Namisaki T, Yamazaki M, Fukui H	日本癌学会学術総会	横浜	66	2007.10.3
Kitade M	ホ°スタ-	The role of neovascularization in hepatocarcinogenesis in non-alcoholic steatohepatitis: a basic and clinical study	Kitade M, Yoshiji H, Kaji K, Namisaki T, Moriya K, Fukui H	ILCA's Second Annual Conference	Chicago		2008. 9. 6
Kitade M	ホ°スタ-	Neovascularization is required for carcinogenesis of non-alcoholic steatohepatitis: experimental and clinical study	Kitade M, Yoshiji H, Noguchi R, Kaji K, Namisaki T, Aihara Y, Fukui H	APASL	Hong Kong	19	2009. 2.14
Kitade M	発表	Distinct role of EGFR and Met on adult hepatic progenitor cell differentiation in mice	Kitade M, Yoshiji H, Snorri T, Fukui H	Annual Meeting of the Japanese Society for the Research of Hepatic Cells	大阪	20	2013. 9.26
Kitade M	ホ°スタ-	Direct renin inhibitor attenuates hepatocarcinogenesis via angiogenesis suppression in rats	Kitade M, Yoshiji H, Aihara Y, Noguchi R, Namisaki T, Douhara A, Nishimura N, Fukui H	ILCA	Kyoto	8	2014. 9. 5
Kitade M	シンホ°	Attenuation of liver fibrosis development by angiotensin 2 receptor blocker 1-treatment augments hepatocyte differentiation of hepatic progenitor cells	Kitade M, Yoshiji H, Fukui H	日本肝臓学会大会	神戸	18	2014.10.23
Kitade M	ホ°スタ-セツ ション	Attenuation of liver fibrosis development by angiotensin 2-receptor blocker 1-treatment augments hepatocyte differentiation of hepatic progenitor cells	Kitade M, Nishimura N, Yoshiji H	AASLD	SAN FRANCISCO		2015.11.14
Kitade M	発表	Augmentation of hepatic progenitor cells-mediated liver regeneration by antifibrotic therapy	Kitade M	AASL	東京	25	2016. 2.23
Kitade M	ホ°スタ-	Possible liver regeneration and anti-fibrogenic effect of NOTCH1 selective inhibitor in the diseased	Kitade M, Kaji K, Yoshiji H	EASL	France	53	2018. 4.13